

## 文化振興についての意見交換で出されたキーワード

### ●人生の豊かさ（心の豊かさ）が文化を育てる。

- ・自ら行う文化活動が文化の振興につながる

### ●文化芸術活動に気軽に参加できるようにするには…

- ・公民館活動は気軽に取り組める身近な文化活動
  - ※活動している人は年配・女性の方が多い（＝若い人、男性が少ない）
- ・背中を押す（きっかけとなる）人が必要
  - └ 女性の活躍
  - └ 友人・知人（地域のつながり）
  - └ 市外から来た人
- ・参加できるメニュー等の充実
  - └ 数ではなく種類を増やす（語学講座など）
  - └ 子供連れでも参加できる講座等
  - └ 男性が好きそうな（参加しやすい）もの
  - └ 市民が一体となれるイベント（市民主導による企画・運営が理想）
- ・仕組みを変える
  - └ 初心者向けの講座の充実
  - └ 登録条件の緩和・申込の簡素化
  - └ 学習グループ連絡協議会（同じ種目の活動をするグループ同士の連携）
- ・情報提供を充実させる
  - └ 講座等のメニューやお知らせの方法を工夫する
  - └ 対象者を明確にする（講師募集、男性向け、子育て中の母親向け …等）
  - └ 各施設の予約状況を一元化し、情報提供（空いている施設の紹介等）

### ●施設を有効活用するには…

- └ 現状は施設が分散している印象がある（他市と比較して）
- └ 定期的な展示替えなど利用者を飽きさせない工夫が必要
- └ 利用料金が高い
- └ ある程度の設備は必要
- └ 知らない（使ったことがない）施設が多い
- └ 世代によって施設の立地の重要性が変わる（若い世代は離れていても抵抗が少ない）

### ●その他

- ・市民の意識
  - └ 佐久の良いところを知るべき（知らない・気づいていない人が多い）
  - └ 活動が盛んな市町村の事例を参考にする。
  - └ ないことが（なくても）良いと思える意識
- ・民間の活動の紹介や連携した取り組み
- ・各文化芸術活動の棲み分け・位置づけ
  - └ 公民館活動は「きっかけ」。さらに「専門的」なことを望むなら民間に…等

## 第2回佐久市文化振興計画ワークショップの開催について

1. 開催日時  
平成23年11月2日（水） 午後6時30分～  
於：佐久市研修センター 中会議室
2. 出席者  
出席者 12名（欠席2名）
3. 会議事項（概要）
  - 1) 意見交換
  - 2) その他

（意見等）

- ・ 佐久の食文化がこの地域の長寿につながっていると思っている。
- ・ 長寿をキーワードに市のPRにつなげられると思う
- ・ 市外の人に佐久市は文化にお金をかけていないので、施設などが中途半端で文化が育たないと言われた。
- ・ 鑑賞する文化も大事だが、自分で行うこと、形の無いものを伝えていくことも大切な文化だと思う。
- ・ 公民館活動の参加者は女性が多く、男性の特に若い世代は参加が少ない。
- ・ 社会情勢として休日も働く人が増え、足並みを揃えて活動することが難しくなっている。
- ・ 佐久市には若者に魅力のある場所や催し物が少ないと言われた。
- ・ 専門性を高めた講座の企画などにより新しい参加者が望める。
- ・ 県民のほとんどが県歌を歌えることに驚いた。
- ・ 施設の無料開放などにより多くの人に施設を知ってもらうことも良いのではないか。
- ・ 文化施設を説明や文化活動をサポートしてくれるボランティアの育成も大切。
- ・ 企業に対して文化活動のサポートをお願いするのも一つの考え。
- ・ 行政が主導する催し物は人が集まらなくなる。
- ・ 児童館を利用した文化活動など身近に文化活動がある環境整備も大切。

### 第3回佐久市文化振興計画ワークショップの開催について

1. 開催日時  
平成23年11月17日（木） 午後6時30分～  
於：佐久市東地区館 中会議室
2. 出席者  
出席者 13名（欠席1名）
3. 会議事項（概要）
  - 1) 意見交換
  - 2) その他

（意見等）

- ・きっかけを与える人がいないと、文化活動への参加や、施設の利用につながらないと思う。
- ・女性や県外の人がきっかけを与える人になると思う。
- ・公民館活動の数は多いが、同じようなものばかりで種類が少ない。また、男性が参加したいと思える活動も少ないと思う。
- ・女性はいくつも掛け持ちで活動に参加している人が多いが、男性は一つの活動だけに集中するケースが多いと思う。
- ・公民館活動と生涯学習の分野は重なる部分が多いので、分散してやるよりも集中させた方がよいと思う。
- ・各地区の公民館の予約状況を館長・主事が共有できる仕組みをつくり、申請した部屋が埋まっていた場合、他の公民館を紹介してもらえる利用しやすい。
- ・どこか一カ所の公民館に登録しておけば、他の地区の公民館を利用する際、減免申請をその都度しなくて済むようにしてもらおうと利用しやすい。
- ・子育て中の母親が、子どもを連れて参加できる講座等が増えるとよい。
- ・若い世代は活動場所が離れていてもあまり気にしないと思う。
- ・施設や展示物に興味をもってもらうには、時間をかけた人材の育成が必要。

## 第4回佐久市文化振興計画ワークショップの開催について

1. 開催日時  
平成23年12月7日（水） 午後6時30分～  
於：交流文化館浅科 視聴覚室
2. 出席者  
出席者 10名（欠席4名）
3. 会議事項（概要）
  - 1) 佐久市の文化に関するアンケートについて
  - 2) 意見交換

（意見等）

- ・文化活動に参加したくても、レベルが高そうだと心配する初心者のことも考え、新たな参加者を増やす工夫が必要。
- ・参加のしやすさは、地域の雰囲気や環境も影響する。リーダーシップを取る人や、地域の文化を掘り起こし、小さい頃から文化に触れる機会を増やす必要がある。
- ・参加する人が少ないのは、PR不足もあると思うので、グループの一年間の活動など、興味を持てる具体的な情報提供が必要。
- ・広報で掲載する情報が多くなり過ぎると、必要な情報を探しにくくなり、かえって見てもらえなくなる場合もある。
- ・あまり展示替がない施設は、何度も行く気にならないので、他の分野のものを展示することを含め、リピーターを増やす工夫が必要。
- ・アンケート結果で、6割を超える人が大切だと答えた「気軽に参加できる文化芸術活動」は、まず公民館活動がその役割を担うと思う。
- ・地方の中小都市における文化振興施策の成功例を参考にした方がよい。
- ・既存施設を活用して、一流の芸術に触れる機会を与えてほしい。
- ・文化は「人生の豊かさ」につながり、参加する割合の高いシルバーエイジにとって、文化活動は「人生そのもの」になると思う。